

1. 科目名 (単位数)	教育学総論 (2 単位)	池袋	3. 科目番号	EDMP5101
2. 授業担当教員	石崎 達也・石垣 久美子・金 龍哲・片岡 浩・ロペス ルイス ミゲル			
4. 授業形態	講義・演習		5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係	修士課程における必修科目			
7. 講義概要	<p>本教育学研究科修士課程では、複雑化する現代社会における人間形成の諸課題を、子どもから高齢者までの自己形成と生涯発達の見点から深く捉え直す「総合的な人間教育学」を基盤にして研究する。</p> <p>本講義では、多角的な視点から「人間とは何か」「教育とは何か」「文化とは何か」という本質的な問いに取り組むとともに、教育現場が抱える複雑で多様な課題の解決に向けた専門的知見について理解を深めることが目的である。そこで、教育学領域を中心とした人間関係諸科学の専門的知見について理解を深めるために、教育学領域、子ども支援領域・多文化共生領域の各学問領域の専門性を有した研究者らがオムニバス形式で講義・実践演習を行うことにより、今日の教育的課題を多角的かつ柔軟に捉え直す思考力・想像力と領域横断的な研究能力を養うことを目指す。</p> <p>[オムニバス方式/全 15 回]</p> <p>(石崎達也 3 回) -----</p> <p>〈今日〉の教育的事象を捉え直し、教育の〈未来〉について考えるためには、〈過去〉の思想家たちの書物を歴史的な文脈や状況から丁寧に読み直すことが手がかりとなる。本講義では人間理解を深めるための方法としての人物・思想研究の意義・方法について解説し、実践をとおして文献研究の基礎的素養を磨く機会を提供する。</p> <p>(石垣久美子 3 回) -----</p> <p>児童生徒の心身の健康課題が多様化・複雑化している昨今、学校の中で展開する保健管理や保健教育はますます重要になっている。本講義では学校保健の専門的観点から今日的な教育課題について議論し、その支援のあり方について実践的に検討する。</p> <p>(金龍哲 3 回) -----</p> <p>人類が経験したことのない急激な社会変化を背景とした現代教育について、幾つかの代表的な事例を取り上げて多角的視点からのアプローチを試みる。比較教育学、文化人類学の研究手法を駆使しつつ、具体的には「人生 100 年時代」における教育の制度設計、カリキュラム・マネジメントの視点からの教育資源の開発、「いじめ」の構図と学級経営の課題等に焦点を当てて問題設定を行い、議論を展開しながら教育の本質や課題について理解を深める。</p> <p>(片岡浩 3 回) -----</p> <p>教育学の中で芸術や文化にかかわる研究をする際の、教材開発の視点や表現方法を学び、研究の視野を広げる。また、五感を活用した先入観にとらわれない表現について体験的に学ぶ。</p> <p>(ロペス ルイス ミゲル 3 回) -----</p> <p>昔から、教科書や「黒板とチョーク」だけで教育の目的を達成するには不十分であることが認識されており、教室外活動は導入されたり教室内は教科書、「黒板とチョーク」以外の道具が使用されたりしてきている。最近では ICT ツールの使用は盛んになっており、ここで ICT の使用に伴う課題を認識する。</p>			
8. 学習目標	<p>[全体的な学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対話・実践演習を通して、「総合的な人間教育学」について深く考え、多角的な視点から理解すること。 2. 教育現場が抱える複雑で多様な課題の解決に向けた専門的知見を学び、自らの研究に役立てること。 3. 今日の教育的課題を多角的かつ柔軟に捉え直す思考力・想像力と領域横断的な研究能力の基礎を身につけること。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>各担当教員が課すレポート課題を提出すること。</p> <p>(石崎)800 字程度で記述する小レポートを、毎回、課題として出す。</p> <p>(石垣) 健康の保持増進を緒とした学校でのアプローチの方法について、学んだことをまとめる。</p> <p>(金) 必要に応じてレポート課題を出す</p> <p>(片岡) 教育学の中で芸術や表現に関わる研究をする際のアプローチの仕方について学んだことをまとめること。</p> <p>(ロペス) インターネットでの検索結果をまとめて提出、ICT ツールを使った授業計画を発表</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用しない <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村雄二郎『臨床の知とは何か』岩波書店、1992 年。 ・池田理知子編著『よくわかる異文化コミュニケーション』ミネルヴァ書房 ・森実・多様性教育ネットワーク『多様性教育入門』解放出版社 ・飯野厚・岡秀夫著『グローバル時代の英語教育—新しい英語科教育法』大修館書房 ・高橋勝『子どもが生きられる空間—生・経験・意味生成』東信堂、2014 年。 ・高橋勝『応答する〈生〉のために—〈力の開発〉から〈生きる歓び〉へ』東信堂、2019 年 ・柳本雄次・河合康編『特別支援教育(第 3 版)』福村出版、2019 年 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床美術プログラム (片岡/配布) 			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>【評価の規準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「総合的な人間教育学」について深く考え、多角的な視点から理解することができたか。 2. 教育現場が抱える複雑で多様な課題の解決に向けた専門的知見を学び、自らの研究に役立てることができたか。 3. 今日の教育的課題を多角的かつ柔軟に捉え直す思考力・想像力と領域横断的な研究能力の基礎を身につ 			

	けることができたか。 【評価方法】 出席状況及び授業態度（40%）、レポート課題（60%）として、総合的に評価する。
12. 受講生へのメッセージ	これからの研究者には、既存の学問分野に閉じ込めるのではなく、多様な学問分野に関心を有し、既存の枠組みに囚われない見方・考え方をしながら、自らの研究活動を行っていく力が求められている。 将来、教員や研究者を目指す受講生には、このような幅広い臨床知・実践知としての「総合的な人間教育学」を基盤とした高い専門性と創造性が求められていることを自覚し、講義・対話・実践演習をとおして、自らの資質・能力の向上に努めてほしい。
13. オフィスアワー	石崎：授業中に連絡する。 石垣：講義内で連絡する。 金：授業時に周知する。 片岡：講義内で通知する。 ロペス：初回授業時に通知する。
14 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】	
1. テーマ	オリエンテーションー教育学の学問的特性（石崎達也）
	【学習の目標】 1. 教育学という学問の構造（対象・方法）を理解し、それを自分の言葉で論理的に説明できる。 2. 臨床教育学の理論を理解し、具体的な事例と関連付けて論理的に説明できる。 【学習の内容】 講義のオリエンテーション後、まず教育学の学問的特性を捉える。次に、総合的な人間探究の学、ならびに人間発達援助学としての臨床教育学の本質について学び、理論の具体化を図る。 【キーワード】 近代教育（学）・学際的な学問・抽象知と身体知・リアリティとアクチュアリティ・人間科学的な研究法と社会科学的研究法・臨床教育学・生きづらさ・弱さ・感受性・ケア 【学習の課題】 受講生各自の研究テーマ（研究動機・研究内容）と教育学（臨床教育学）研究との関連に関する小レポートを作成すること。 【参考文献】 田中智志『教育学がわかる事典』、日本実業出版社、2003。 中村雄二郎『臨床の知とは何か』、岩波書店、1992年。 遠藤野ゆり・大塚類『あたりまえを疑え！：臨床教育学入門』、新曜社、2014年。 【学習する上での留意点】 受講生各自がもつ教育学への関心やイメージを大切にしながら、学問としての教育学の輪郭を体系的に理解すること。
2. テーマ	人物・思想研究の意義（石崎達也）
	【学習の目標】 教育における「善さ」、学問を志す人間のあり方について探究すること。 【学習の内容】 テキストを精読し、自らの問題意識に即した意見をまとめ、話合う。 【キーワード】 教育哲学、学問の意味、学問と道徳、実学とは何か 【学習の課題】 授業中の問いへの応答と学びの共有 【参考文献】 村井実『新・教育学のすすめ』小学館、1978年。 福沢諭吉、檜谷昭彦（翻訳）『現代語訳 学問のすすめ』、三笠書房、2010年。 齋藤孝『日本を教育した人々』筑摩書房、2007年。 【学習する上での留意点】 事前に指定箇所を熟読し、疑問点や質問などをまとめてくること。
3. テーマ	人物・思想研究の実践（石崎達也）
	【学習の目標】 各自の研究テーマに関連する人物を深く探究したレポートを作成し、報告すること。 【学習の内容】 受講生による口頭発表を行い、各発表に関して話合う。 【キーワード】 資料・研究文献の収集法・論文作成につながるレポートの書き方 【学習の課題】 これまで各自が研究してきたテーマに関連する人物を選び、レポートを作成し、報告すること。 【参考文献】 資料配付、その他文献は講義内で紹介する。 【学習する上での留意点】 先行研究や文献等、十分な資料収集を行った上でレポートを作成すること。引用参考文献も付記すること。
4. テーマ	学校教育における学校保健の重要性① 児童生徒の心身の健康課題と学校保健の発展（石垣久美子）
	【学習の目標】 現代の学校が抱える児童生徒の心身の健康課題と、学校保健の歴史的変遷について理解する。 【学習の内容】 学校保健のあらましを概観し、その根拠となる法律・答申・調査結果を踏まえて考察する。 【キーワード】 中央教育審議会答申、学校保健安全法、学校保健の構造領域、学校保健統計調査 【学習の課題】 児童生徒の健康課題に関する配布資料に基づいて自分の考えをまとめ、ディスカッションを行う。 【参考文献】 日本学校保健会（2021）「学校保健の課題とその対応ー養護教諭の職務等に関する調査結果からー」 【学習する上での留意点】 学校保健の根拠となる法律や各種答申に注目する。
5. テーマ	学校教育における学校保健の重要性② 保健管理と児童生徒の命・安全（石垣久美子）
	【学習の目標】 学校の危機管理と学校保健の関係性について理解し、安心安全な学校生活とは何かを検討する。 【学習の内容】 安心安全な教育環境の確保について保健管理の観点から概観し、その推進のあり方について考察する。 【キーワード】 健康観察、健康診断、健康相談、保健指導、疾病予防、救急処置 【学習の課題】 児童生徒の健康課題に関する配布資料に基づいて自分の考えをまとめ、ディスカッションを行う。 【参考文献】 文部科学省（2019）「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援ー養護教諭の役割を中心にー」 日本学校保健会（2022）「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引きー令和3年度改訂ー」 【学習する上での留意点】 学校保健が保健管理と保健教育の両輪であることや、組織活動の重要性に着目する。
6. テーマ	学校教育における学校保健の重要性③ 保健教育の新たな展開（石垣久美子）
	【学習の目標】 保健教育にまつわる最新キーワードや、先進的な取り組みの実践について理解する。 【学習の内容】 命の安全教育等を例にし、「学校の教育活動全体を通じて」展開される保健教育の特徴について考察する。 【キーワード】 体育科、特別活動、関連教科、個別指導、学習指導要領、ヘルスプロモーション

	<p>【学習の課題】児童生徒の健康課題に関する配布資料に基づいて自分の考えをまとめ、ディスカッションを行う。</p> <p>【参考文献】文部科学省（2019）「改訂「生きる力」を育む小学校保健教育の手引」</p> <p>【学習する上での留意点】自身が学校生活の中で経験した保健教育と比較しながら検討する。</p>
7. テーマ	生涯学習という生き方―「人生100年時代」における教育の制度設計（金龍哲）
	<p>【学習の目標】長寿社会の到来に伴う教育制度を含む現行諸制度の限界を理解し、国際比較的視点から教育の現状を俯瞰する。</p> <p>【学習の内容】生涯学習における学校教育の位置づけ、教育の仕組みや社会諸制度の改革に関する内外の動向について学ぶ。</p> <p>【キーワード】人生100年時代、生涯学習、マルチステージ、コンピテンシー</p> <p>【学習の課題】長寿社会がもたらす教育の諸課題、生涯学習における学校の役割、生涯発達諸段階における教育の在り方</p> <p>【参考文献】リンダ・グラットン『LIFE SHIFT―100年時代の人生戦略』東洋経済新聞社、2016年。</p> <p>【学習する上での留意点】指定された資料を事前に関連し、問題点を整理して授業に臨むこと。</p>
8. テーマ	カリキュラム・マネジメントの視点による教育資源の開発―伝統文化や地域文化を如何に扱うか（金龍哲）
	<p>【学習の目標】長寿社会の到来に伴う教育制度を含む現行諸制度の限界を理解し、国際比較的視点から教育の現状を俯瞰する。</p> <p>【学習の内容】生涯学習における学校教育の位置づけ、教育の仕組みや社会諸制度の改革に関する内外の動向について学ぶ。</p> <p>【キーワード】人生100年時代、生涯学習、マルチステージ、コンピテンシー</p> <p>【学習の課題】長寿社会がもたらす教育の諸課題、生涯学習における学校の役割、生涯発達諸段階における教育の在り方</p> <p>【参考文献】リンダ・グラットン『LIFE SHIFT―100年時代の人生戦略』東洋経済新聞社、2016年。</p> <p>【学習する上での留意点】指定された資料を事前に関連し、問題点を整理して授業に臨むこと。</p>
9. テーマ	「いじめ」対策から考える生徒指導と学校リスクマネジメントの課題（金龍哲）
	<p>【学習の目標】いじめ問題の本質を理解し、人権教育の視点から生徒指導と学級運営の課題を整理する</p> <p>【学習の内容】いじめ防止対策関連法規、いじめに関する諸外国の動向、事例から見る学校リスクマネジメントの課題</p> <p>【キーワード】いじめ、いじめの構図、人権教育、リスクマネジメント、</p> <p>【学習の課題】いじめはなぜ人権問題か、いじめの本質は何か、本当の意味でのリスクとは何か。</p> <p>【参考文献】「いじめ防止対策推進法」</p> <p>【学習する上での留意点】事前に指定した資料を熟読して授業に臨むこと。</p>
10. テーマ	臨床教育学における芸術領域の位置づけと意義について（片岡浩）
	<p>【学習の目標】臨床教育学の中で芸術や文化を研究する意義を考える。</p> <p>【学習の内容】文献講読を通して、臨床教育学における芸術領域の位置づけと意義を理解し、それに基づいてディスカッションをする。</p> <p>【キーワード】臨床教育、芸術、文化、創造</p> <p>【学習の課題】文献の内容を整理し、それに基づいてディスカッションを行う。</p> <p>【参考文献】佐藤学・今井康編『子どもたちの想像力を育む―アート教育の思想と実践』東京大学出版会 佐伯胖・藤田英典、佐藤学編『シリーズ学びと文化⑤ 表現者として育つ』東京大学出版会 資料配布</p> <p>【学習する上での留意点】経験や先入観にとらわれない学習の姿勢を望む。</p>
11. テーマ	芸術領域における教材開発の視点（片岡浩）
	<p>【学習の目標】芸術領域における教材開発の視点を理解し、自らの研究に生かすことができるようにする。</p> <p>【学習の内容】造形表現（図画工作・美術）は、幼少期に於いては無意識に楽しめる傾向にあるが、成長とともに「上手い、下手」にとらわれ苦手意識を抱いていく人が少なからず存在する。しかし、この教科は本来、自分の五感の機能を十分に活用し、材料の特性を最大限に活かしながら誰もが自由に表現を楽しみ、自己肯定感を呼び起こすという特性と魅力を備えており、これこそが「美術の持つ力」といえる。この点について体験的理解をはかる。</p> <p>【キーワード】教材開発、臨床美術</p> <p>【学習の課題】教科の知識や技能に偏らず、五感と素材の特性を活かした表現およびコミュニケーション構築を考えながら、教材開発を行う視点を身につける。</p> <p>【参考資料】資料配布</p> <p>【学習する上での留意点】経験や先入観にとらわれない学習の姿勢を望む。</p>
12. テーマ	芸術領域の表現方法（片岡浩）
	<p>【学習の目標】芸術領域の表現方法について、技術・形式に頼るのではなく、「なぜ・何を・どのように」表現したいのか、表現するののかという核の部分となるコンセプトについて体験的に学び自分自身の研究に生かすことができるようにする。</p> <p>【学習の内容】芸術領域の表現方法についての概要を説明する。発想、表現と伝達についてブレインストーミング、グループディスカッション等とおして体験的に学ぶ。</p> <p>【キーワード】発想、表現方法、プレゼンテーション</p> <p>【学習の課題】「コンセプト、技術、素材の特性」の関係性を理解し、自分自身の研究に生かすことができるようにする。</p> <p>【参考文献】資料配布</p> <p>【学習する上での留意点】経験や先入観にとらわれない学習の姿勢を望む。</p>
13. テーマ	教育とICT・様々なセキュリティ上の問題（ロペス）
	<p>【学習の目標】近年、安易にだれでもICTツールを使って業務を行ったりコミュニケーションをとったりしているが、リスクが伴う。リスクを認識した教育にICTツールの使い方を覚える。</p> <p>【学習の内容】一般的に教育分野で使用されるツールを確認する。情報ネットワークの構造を簡単に解説して、危険予知の重要性を認識する。</p> <p>【キーワード】個人情報、著作権、SNS時代のリスク、ネットワーク攻撃</p> <p>【学習の課題】「セキュリティ」の観点から、今までの自分のICTツールの使い方を振り替える</p> <p>【参考文献】資料配布・インターネット検索</p> <p>【学習する上での留意点】最近起きた情報セキュリティに関するいくつかの事件を確認する</p>
14. テーマ	AIと教育（ロペス）
	<p>【学習の目標】AIは有効に教育に利用できる条件を確認する。</p> <p>【学習の内容】AIの仕組みを理解し、AIの正しい使い方とは何かを考える</p> <p>【キーワード】AI、偽情報、誤情報、AIと検閲</p> <p>【学習の課題】AIは使ったことある学生は今までの利用経験を振り返る、使ったことない学生がAIを試して見る</p>

【参考文献】 資料配布・インターネット検索

【学習する上での留意点】

15. テーマ | 応用・各自にテーマを選んでもらって ICT を使った授業計画を作成 (ロペス)

【学習の目標】 安全に ICT を使った授業の計画

【学習の内容】 当科目第 13 回及び 14 回で学んだ内容を踏まえて ICT ツールを使った授業を計画する

【キーワード】 リスク分析、危険予知

【学習の課題】 発表のときに計画した授業目的、ICT ツール、リスク回避対策を明確に説明できる

【参考文献】 当授業で学んだ内容

【学習する上での留意点】